３　月　定　例　記　者　会　見

令和３年３月１８日(木)
午前９時１５分～特別会議室

１　あいさつ

２　会見事項

（１）人事異動内示について　［資料№.１］

（２）行政手続における押印原則の見直しについて　［資料№.２］

（３）消防本部新庁舎の完成及び運用開始について　［資料№.３］

（４）観光情報　［資料№.４］

３　行事予定

（１）春休み特別企画　親子体験・裁縫教室

３月２８日（日）　１３：３０　足利織物伝承館

問い合わせ: 足利織物伝承館・℡ 22-3004

（２）『直人のスケッチ』展示会

４月１日（木）～３０日（金）　９：００　市役所市民ホール

問い合わせ：展示会事務局　川本・℡ 41-3181

（３）小・中学校入学式

中学校：　４月　９日（金）　１０：００　各中学校

小学校：　４月１２日（月）　１０：００　各小学校

問い合わせ: 学校教育課・℡ 20-2219

（４）市民マーケット　たかうじ市

４月１１日（日）　　９：００　鑁阿寺野外ステージ前広場

問い合わせ: まちなか・にぎわせ隊（野代）・℡ 41-2231

次回の定例記者会見の予定
４月１５日（木）１３：００　特別会議室

足利市人事異動内示資料

令和３年４月１日発令

足利市の将来を見据えたビジョンを実現し、足利市の未来をさらに明るく、元気に輝くまちとするため、市職員が一丸となって各種事業に取り組むとともに、多岐にわたる行政需要への対応を念頭に、令和３年４月の定期人事異動を行います。そのポイントは次のとおりです。

１　異動規模及び職員数

全体の異動規模は例年並みで、異動総数を 306 人（異動率 27.7％）としました。　　また、新型コロナウイルス感染症対策などに万全を期すため、配置換えについては　　小規模に留めました。

職員数は、新たな行政需要への増員を行いつつ、大型公共施設更新に向けた財政指針を踏まえ、既存事業の見直しや業務の精査などによる減員も行い、全体としては、　令和２年度当初配置から９人減の 1,106 人としました。

２　新型コロナウイルス感染症に係る対応

昨年来猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症について、感染拡大防止のためのワクチン集団接種が、令和３年４月以降、順次開始となる見込みです。ワクチン接種は市民の生命を守るためには最優先で取り組まなければならない事業であり、専担職員を増員するとともに、224 名の職員に新型コロナウイルス感染症対策室を兼務する辞令を発令し、確実かつ速やかなワクチン接種を実現できる体制を整えました。

３　新規重要施策の推進

中橋架け替えを活用した新たなまちづくり、産業力を強化するための（仮称）あがた駅北産業団地開発、「いちご一会とちぎ国体」のリハーサル大会の開催、マイナンバーカードの普及促進、公共施設の最適化に係る事業や更なる行財政改革の推進など、新たな 100 年に向け取り組むべき行政課題に対応するため、担当部署を充実させ、推進体制の強化を図りました。

４　危機管理体制の充実

令和元年東日本台風に係る災害対応の検証を踏まえ、令和２年度から危機管

理体制の充実を図ってきましたが、令和３年度は交通防犯業務を加え職員体制を強化するとともに、引き続き 43 名の職員に危機管理課を兼務する辞令を発令し、災害発生時における迅速で確実な初動がとれる体制を整備しました。

５　女性の登用

男女共同参画社会の実現に向け、女性職員の活躍を推進するため、新たに副部長級に１人、参事級に２人、課長級に２人、課長補佐級に２人、主幹級に 10 人、副主幹級に８人を昇任させました。これにより、管理監督職である副主幹級以上の職員 299 人のうち女性職員は 61 人になり、女性管理監督職員の割合は 20.4％となりました。

人事異動の状況

令和３年４月１日発令

職　制	配置数		異動総数		
		うち女性		うち昇任	
					うち女性
部長級	10	1	5	4	
副部長級	3	1	1	1	1
参事級	36	4	18	9	3
課長級	23	3	13	11	2
課長補佐級	33	4	26	16	2
主幹級	135	31	55	24	10
副主幹級	59	17	33	22	8
主査級以下	807	306	155	67	26
合　計	1,106	367	306	154	52

（注）異動総数には、採用や配置換えを伴わない昇任も含まれます。また、主査級以下の職員に係る部内の配置換えは含みません。

・令和２年４月１日職員数　1,115 人
・令和２年度定年退職者数　31 人
・令和２年度定年以外退職者等数 ８人　（教職員を除く）
・令和３年４月１日採用数予定　30 人　（教職員を除く）
・令和３年４月１日職員数予定 1,106 人

【参考】課長級以上の退職者　　　　　　※（　　）は退職時の職制名

＜部長級＞	大川　晴美	（足利市 理事）
	岩原　幸市	（足利市 理事）
	柴崎　正人	（総合政策部長）
	平澤　敏明	（総務部長）
	金子　裕之	（上下水道部長）
	大美賀　裕	（消防長）
＜副部長級＞	津布久　公夫	（会計管理者）
＜参事級＞	後藤　民司	（健康福祉部参事 元気高齢課長）
	吉澤　勇	（生活環境部参事 クリーン推進課指導担当課長）
	笠原　仁治	（生活環境部参事 環境政策課長）
	塚越　孝一	（参事 中央消防署長）
＜課長級＞	加藤　美恵	（健康福祉部 障がい福祉課長）
	新藤　節	（消防本部 通信指令課長）

行政手続における押印原則の見直しについて

総務部　行政管理課
（0284-20-2276）

1　趣旨

国は、テレワークの推進とデジタル時代に向けた制度の見直しの一環として、「押印原則の見直し」に取り組んでいます。

本市においても、行政手続の簡素化とデジタル化を推進し、市民の負担軽減及び利便性の向上を図るため、国の基準を踏まえ、行政手続における押印原則の見直しを行いましたので、その概要について報告するものです。

2　押印を求める趣旨

押印を求める趣旨は、次の３点が挙げられます。特に、「認印」は個人の認証としての効果が乏しいため、効力が限定的とされています。

趣旨	留意事項
本人確認 (文書作成者の真正性確保)	本人確認の手法は、押印の他にも多数存在し、実印以外の押印は、本人確認の効果が小さい。
文書作成の真意確認	本人確認がなされれば、通常の場合は押印不要
文書内容の真正性の担保	文書の証拠価値は、押印のみによって評価されるわけではなく、手続全体で評価される。

3　押印原則の見直し基準

国の基準を踏まえ、次のいずれかに該当する手続については、行政手続の内容、目的、趣旨等に照らして押印原則を見直すこととしました。

(1) 条例、規則等の条文又は様式に押印を求める根拠がないもの
(2) 押印の根拠があっても押印を求める積極的意味合いが小さいもの
(3) 押印の根拠があっても押印を求める合理的理由が認められないもの
(4) 他の手段により代替が可能なもの

4　押印原則の見直し結果

２の押印を求める趣旨、３の見直し基準、国、県等からの通知等を踏まえ、押印を求める全ての行政手続について調査を実施し、見直し対象とした 2,418 件の手続のうち、約９７パーセントに当たる 2,338 件の手続について、押印を廃止します。なお、見直しの対象外とした法令又は県条例等に基づく行政手続（222 件）

についても、適宜、押印原則の見直しを行います。

〇押印原則の見直し結果

	区分	手続件数	備考
①	廃止済 （令和３年１月、２月）	520	法令等の改正によるもの
②	廃止決定 （令和３年４月～）	1,803	補助金の交付、医療費の助成等の申請書、建築確認、法定外公共物の使用許可等の許可申請書、見積書、請求書等の会計手続、職員の通勤届、住居届など
③	廃止予定（令和３年度） （令和３年６月～11件） （令和３年12月～4件）	15	条例等の改正、法令等の施行により廃止する予定のもの
④	存続	80	契約書、委任状等
合計		2,418	

5　市民への周知について

既に押印を廃止した手続については、申請書等に押印欄があっても、押印を求めない対応を行っています。今後、申請書等の押印欄の削除や、あしかがみ、市ホームページ等により市民への周知を図ります。

6　今後の対応

国、県等の動向を注視しつつ、引き続き、申請書等の押印原則の見直しについて、検討してまいります。

7　スケジュール

令和３（2021）年３月　特例規則等の制定、関係規則の改正等
　　　　　　　　　　　申請書等の様式の変更
　　　　　　　　４月　あしかがみ、ホームページへの掲載
　　　　　　　　　　　押印廃止の実施
　　　　　　　　６月　関係条例の改正

消防本部新庁舎の完成及び運用開始について

消防本部　消防総務課
℡４１－３１９７

１　趣旨

消防本部新庁舎につきましては、令和元（2019）年１２月に着工し、建築工事、電気設備工事及び機械設備工事を進めてまいりましたが、令和３（2021）年３月１０日に完成しましたので、消防本部新庁舎の完成及び運用開始等を報告するものです。

２　運用開始

令和３（2021）年４月１日

なお、３月１９日から３日間で引越しを行い、３月２２日に通信指令システム及び電話回線の切り替え、新庁舎で消防業務を開始しますが、３月３１日までの間は仮運用期間とします。

３　落成式

落成式につきましては、３月下旬に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とします。

４　今後のスケジュール

令和３（2021）年	３月１９日～	引越し作業
	３月２２日	新庁舎仮運用開始
	４月　１日	新庁舎運用開始
	５月	現庁舎解体工事 着工
	１１月	現庁舎解体工事 完了
	１２月	付帯施設建設工事 本契約
令和４（2022）年	１月	付帯施設建設工事 着工
	１２月	付帯施設建設工事 完了

○４月観光情報

【あしかが『美』食まつり】

市内の農家の方々が手塩にかけて育てたJA足利の農産物ブランド「あしかが美人®」のトマト、アスパラガス、いちごが市内の飲食店で珠玉のメニューとなって登場します。

「あしかが美人®」はJA足利の農産物直売所などで販売されるブランド野菜7種類。その中から、トマト、アスパラガス、いちごを食材に使い、各飲食店が趣向を凝らし自慢の逸品を作り上げ、お客様に提供いたします。

また、今回は、多くの飲食店を利用するお客様がよりお楽しみいただけるよう、スタンプラリーを実施いたします。是非、ご参加ください。

日　時:2月20日(土) ～5月9日(日)
場　所:足利市内32店舗
問合せ:一般社団法人足利市観光協会　☎0284－43－3000

【足利しだれ桜さんぽ道】

静かにしだれ桜を鑑賞いただくお祭りで、暖かな春を堪能できます。

日　時:4月3日(土) ～4月11日(日)
場　所:旧袋川沿い(足利市総合運動場北東)
交　通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約10分
JR両毛線足利駅から徒歩で約25分
北関東自動車道足利ICから約10分
東北自動車道佐野藤岡ICから約35分
問合せ:足利しだれ桜さんぽ道実行委員会　☎0284－20－2165(足利市観光振興課)

【大岩山毘沙門天春季大祭】(開催検討中)

奈良の信貴山・京都の鞍馬山とともに、日本三大毘沙門天の一つとして知られる大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)で春季大祭御護摩修行(春祭)が行われます。

日　時:4月　※詳細未定
場　所:大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺)(大岩町)
交　通:東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分
JR両毛線足利駅から車で約20分
北関東自動車道足利ICから約30分
問合せ:最勝寺　☎0284－21－8885

【物外軒茶室無料公開】(足利市指定文化財/国登録記念物)

この茶室は、猿田の萬屋三代目 長(ちょう) 四郎三(しろうぞう)氏によって、明治初期に渡良瀬川河畔の萬屋邸内に建てられました。この四郎三は江戸にも聞こえるほどの豪商であったばかりではなく、漢詩、和歌、俳句、書画骨董の収集にも通じる教養人であったと伝えら

れています。茶室は表千家不白流（おもてせんけふはくりゅう）の流れを汲むもので、木造平屋の切妻造（きりづまづくり）、三畳台目（さんじょうだいめ）の茶室と三畳の次の間、勝手、水屋からなり、建築に当たっては日本を代表する古筆鑑定家 古筆了仲（こひつりょうちゅう）の指導を受け、慎重を期したと言われています。

春の一日、この茶室に佇むと幕末から昭和にかけて栄えた足利屈指の豪商の奥座敷にタイムスリップしたかのような雰囲気を感じることが出来ます。お庭の解説等も受けられますので、担当職員にお気軽にお声掛けください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や規模縮小もございます。

日　時：4・5月の日・祝日、6月の第2日曜日　各日午前9時～午後4時
場　所：物外軒（通6丁目3165-2番地　織姫公民館北側）
交　通：東武伊勢崎線足利市駅から徒歩で約20分
　　　　JR両毛線足利駅から徒歩で約20分
　　　　北関東自動車道足利ICから約15分
　　　　東北自動車道佐野藤岡ICから約40分
問合せ：足利市文化課文化財保護・世界遺産推進担当　☎0284－20－2230

【下野國一社八幡宮春祭】

下野國一社八幡宮は、八幡太郎の源義家が、勅命により陸奥の豪族安倍頼時父子を討伐（とうばつ）するために下向の途中、戦勝を祈願して創建したのが始まりといわれています。下野国第一の八幡宮として、下野國一社八幡宮と称し、南北朝時代以降の指定文化財を数多く有しています。境内には、「日本三大縁切り稲荷」の一つに数えられ、縁切りは勿論の事、病気、災難、厄除けにも霊験あらたかな門田稲荷神社があります。

春祭りでは足利市無形文化財に指定されている御神楽が毎年披露されます。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や規模縮小もございます。

日　時：4月10日（土）　※毎年4月10日
場　所：下野國一社八幡宮（八幡町）
内　容：ご参拝　午後8時まで
　　　　御神楽　午前10時～午後3時頃予定　※詳細未定
交　通：東武伊勢崎線足利市駅から車で約5分、徒歩で約20分
　　　　JR両毛線足利駅から車で約10分、徒歩で約30分
　　　　北関東自動車道足利ICから約20分
問合せ：下野國一社八幡宮社務所　☎0284－71－0292

【樺崎八幡宮春祭】

鑁阿寺の開基として知られる源姓足利氏2代目義兼が、その生涯を閉じた地に建てられたのが樺崎八幡宮といわれ、本殿の床下には「足利義兼公御廟」と書いた墓標が立っています。発掘調査の結果、この遺跡は浄土庭園やお堂跡を残す中世の寺

院跡として全国的に貴重であることが認められ、国指定史跡となっています。
樺崎八幡宮春祭では、氏子の方々による太々神楽の披露、また地元の方による模擬店が出ます。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や規模縮小もございます。
日　時：4月18日(日)（毎年4月の第3日曜日）
場　所：樺崎八幡宮(樺崎町)
内　容：祈願式　午前11時～
　　　　模擬店　午前10時～午後3時(予定)
　　　　神楽　午前10時～午後3時(予定)
交　通：東武伊勢崎線足利市駅から車で約20分
　　　　JR両毛線足利駅から車で約15分
　　　　北関東自動車道足利ICから約5分
問合せ：樺崎八幡宮総代長　斎藤宅　☎0284－41－3504

【足利春まつり】(開催検討中)
ゴールデンウィークを中心に、市内を散策する「まちなかウォーク」など多彩なイベントが催されます。
期　間：4月中旬～5月中旬　※詳細未定
場　所：市内各所
交　通：東武伊勢崎線足利市駅から徒歩で約10分
　　　　JR両毛線足利駅から徒歩で約10分
　　　　北関東自動車道足利ICから約10分
　　　　東北自動車道佐野藤岡ICから約30分
問合せ：足利春まつり実行委員会(事務局：足利商工会議所)　☎0284－21－1354

【ふじのはな物語～大藤まつり2021～】
350本以上の藤の花と5000株以上のつつじが咲く「ふじのはな物語～大藤まつり2021～」。世界一の美しさを誇る大藤、80mも続く白藤のトンネル、きばな藤のトンネルなど息をのむ美しさの藤を堪能できます。別世界へと誘う神秘的な夜の大藤もお勧めです。
咲く色の順番は、うす紅、紫、白、黄色の順に約1か月間お楽しみいただけます。
5000株以上咲き誇るつつじは、例年4月中旬から5月上旬頃が見ごろです。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては規模縮小もございます。
期　間：4月17日(土)～5月23日(日)午前9時～午後6時　(予定)
　　　　※ライトアップの開催期間・時間はお問い合わせください。(現在検討中)
場　所：あしかがフラワーパーク(迫間町)
料　金：大人900～1,900円、小人500～900円
　　　　※夜の部(午後5時30分～午後9時)
　　　　大人600～1,600円、小人300円～800円
※入園料、開催期間、ライトアップ期間は、開花状況により変更になる場合がありま

す。
交　通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分
東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分
北関東自動車道足利ICより約15分
東北自動車道佐野藤岡ICより約30分
問合せ:あしかがフラワーパーク　☎0284－91－4939

花　情　報

開花時期は気候等により前後する場合がありますので、お問合せの上、お出かけください。

問合せ:(一社)足利市観光協会　☎0284－43－3000
足利市観光振興課　☎0284－20－2165

【桜】

日本の花といったら多くの方がこの名をあげる「桜」。

足利公園、東砂原後町・田所町の旧袋川、千歳町・常盤町・寿町の袋川沿いでも美しい桜を静かに愛でることができます。

時　期:3月下旬～4月上旬
場　所:足利公園(約220本、緑町2丁目)、織姫公園(約330本、巴町)、
山前公園(約320本、大前町)、東砂原後町・田所町付近旧袋川、
千歳地区袋川沿い(約150本、千歳町・常盤町・寿町)、
利保町宮前橋付近(名草川、通称めがね橋)、鑁阿寺、栗田美術館ほか
問合せ:(一社)足利市観光協会　☎0284－43－3000

【菜の花】

菜の花が一面に咲く川沿いは、まるで黄色い絨毯を敷き詰めたかのよう。菜の花が咲き誇る渡良瀬川の堤防を歩くと、体全体で春の訪れを感じることができます。

時　期:3月下旬～4月上旬
場　所:渡良瀬川堤防(野田町)、千歳地区袋川沿い(千歳町・常盤町・寿町)
問合せ:(一社)足利市観光協会　☎0284－43－3000

【藤】

ピンク・むらさき・白・黄色と足利市に春の訪れを感じさせてくれる花。あしかがフラワーパークの藤は、「奇蹟の大藤」として国内外で有名です。

時　期:4月中旬～5月中旬
場　所:織姫公園(巴町)、足利学校(昌平町)、あしかがフラワーパーク(迫間町)
問合せ:(一社)足利市観光協会　☎0284－43－3000

【つつじ】

足利市花である「つつじ」は、うららかな春、見る人を明るい気分に誘ってくれます。

時　期:4月下旬～5月上旬
場　所:織姫公園(巴町)、山前公園(大前町)、足利公園(緑町2丁目)、
　　　あしかがフラワーパーク(迫間町)
　問合せ:(一社)足利市観光協会　☎0284－43－3000